



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

R I テーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

クラブテーマ

心はひとつ One for all, all for one

「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」

2021-2022

第 26 回例会

会 報 No. 1174 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：齊藤伸明、副会長：平野正博、幹事：水谷朱美、出席・会報委員長：坂牧博美

令和 4 年 3 月 16 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA

担当：出席・会報

ロータリーソング「それでこそロータリー」/「四つのテスト」：川西 裕康 さん

ゲスト 株式会社宮崎中央新聞社中部支局長 山本 孝弘 氏

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	3月2日修正出席率	ビジター
	52名	45名	7名	10名	77.78%	82.22%	0名

会長挨拶

齊藤 伸明 会長

3月11日に桜丘高校で東日本大震災追悼集会が行われた。「知」という追悼の明かりが灯され、生徒が「震災を知らない世代なので、知ることから始め未来につなげたい。」と発言した。震災から10年を超え、追悼式典を取りやめた自治体が相次いでいるが、震災の記憶を次代に伝え続け災害大国であることを忘れないようにすることが大切だと思う。

本日のプログラム

『コミュニケーションのとり方ときき方』

株式会社宮崎中央新聞社中部支局長 山本 孝弘 氏

宮崎中央新聞や日本講演新聞を聞いた事ある方はいらっしゃいますか。1万部しか発行していない新聞ですがどんな新聞なのかを説明すると、悲しい事故や痛ましい事件を載せる新聞ではなくプラスの情報しか載せない新聞でございます。週に1回読むと心が温まる内容やこれはためにになるな役に立つなという情報しか載せていません。その中で月に1回社説を私が書かせてもらってます。社説といってもウクライナ情勢はどうか、少子化についてとかではなく、明るいエッセイだったり社説らしくない社説をウリにしています。過去に取材で色々な方に会ってきました。その中で嬉しかったのが中日ドラゴンズの立浪さん。年齢も一つ違いでPL学園時代から彼の活躍を見ていました。良い話も聞けました。高校時代、片岡選手が伸び悩んでいる時に一緒に落ち葉掃除しようと提案しました。続けているとプレーも安定していきました。なんでそんな提案をしたのか聞くと徳を積もうと思っただけです。と答えられました。プロ入りして10年たった時にはなんか惰性してしまう生活が続きました。そんな時ボランティア団体の企画で難病の子供を励ます企画を受けました。会うだけですごく喜んでもらい目をキラキラさせ体が良くなったら球場に応援に行くねと声をかけられ感動し涙が出そうに



なりました。その場では我慢し、病院をあとにするとボロボロ涙が溢れました。自分の仕事の大切さに気づき惰性を捨て誰よりも早く球場入りする事にしました。そこで感じたのは励ます側と思っていた事が逆に励まされていた事でした。考えてみれば部下に教わる事もあるし、子供に気付かされる事もあります。立場があれど人と人の関わりに区別はないと学びました。また他の難病の子の夢はディズニーランドに行く事でしたがコロナのため行くことは難しく次の夢のお子様ランチを食べる夢を叶える事にしました。中々見つけられない中、某5つ星ホテルが受けてくれました。しかも部屋の壁紙やシーツなどディズニーのキャラクターに変えてくれバルーンアートまで用意しランチ後にはサプライズケーキが用意されスタッフが拍手喝采で迎え入れてくれました。その子はその日の事を全てが嬉しかったけど大人たちが私のためにあんなに一生懸命してくれた事が忘れないくらい嬉しかったと言ってくれました。また終わってから総支配人が挨拶に来てくれましたが、『今回は従業員におもてなしを学ばせてもらう事ができありがとうございました』と逆にお礼されました。他にも色々なエピソードありますが心温まる内容の新聞を広げる事が世界平和に繋がると信じております。

5分間スピーチ

西 義雄 さん

私は65歳から日本赤十字社で色々な仕事をしております。赤十字社は1859年に発足しました。日本でも1877年に設立し大きな組織に発展し、今では病院は94、大学は5、短大2、専門学校14と教育でも発展しております。また輸血や海外に救援隊を派遣するなど多岐にわたって活動しており、すべてサービスとして人とお金を使う組織です。1230万人、20万社の協力を得ておりますが、全てが労働奉仕、サービスでございます。皆様のご協力もよろしく申し上げます。



原稿：三輪 真大 さん/写真：長本 康孝 さん